

オリジナルコミュニケーションボード・カード作成ソフト
操作マニュアル

目 次

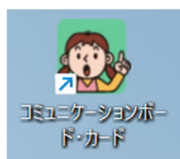
1. ソフトの起動	2
1-1. Windows11 の場合	2
1-2. Windows10 の場合	3
2. オープニングメニュー	4
3. オリジナルコミュニケーションボードの作成	5
3-1. 用紙の選択	5
3-2. イラストの選択・貼り付け	7
3-3. イラスト枠の色の選択	8
3-4. 文字の入力・編集	9
3-5. 作成したボードの保存	15
3-6. 保存したボード（ファイル）を呼び出す	17
3-7. ボードの印刷	19
3-8. PDFファイルの作成	21
3-9. スマートフォン・タブレットへの転送	22
3-10. 同じ用紙で新しく作成する場合	25
3-11. 別の用紙を選択する場合	25
3-12. 画面を閉じる場合	25
4. コミュニケーションカードの作成	26
4-1. イラストの選択・貼り付け	27
4-2. 作成したカードの保存	28
4-3. 保存したカード（ファイル）を呼び出す	29
4-4. カードの印刷	31
4-5. PDFファイルの作成	32
4-6. スマートフォン・タブレットへの転送	34
4-7. 新しくカードを作成する場合	37
4-8. 画面を閉じる場合	37
5. ファイルのバックアップと復元	38
5-1. ファイルのバックアップ	38
5-2. バックアップしたファイルの復元	39

1. ソフトの起動

1-1. Windows11 の場合

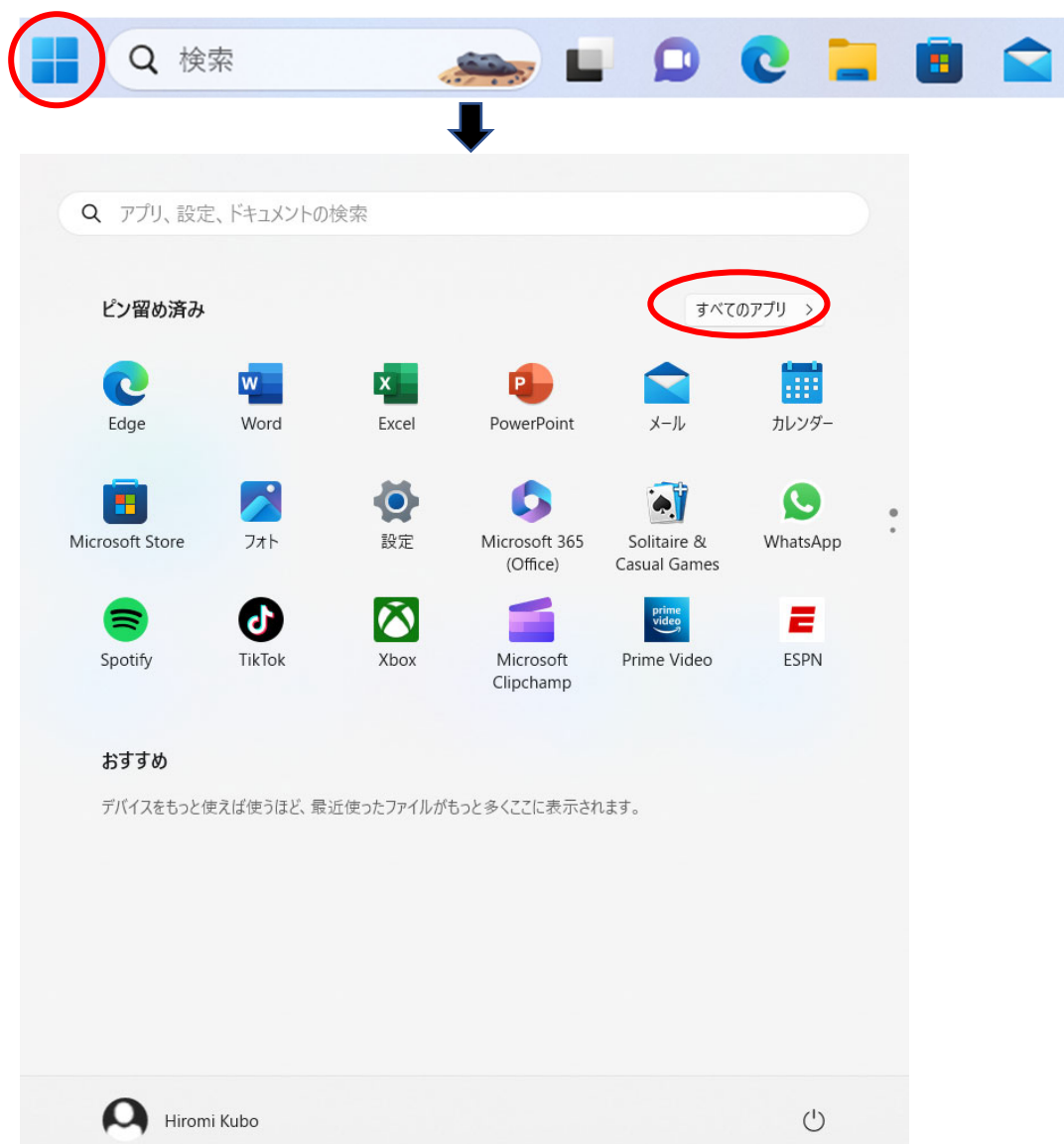
① ショートカットアイコンからの起動

デスクトップ画面のショートカットアイコンをダブルクリック（またはクリック）します。

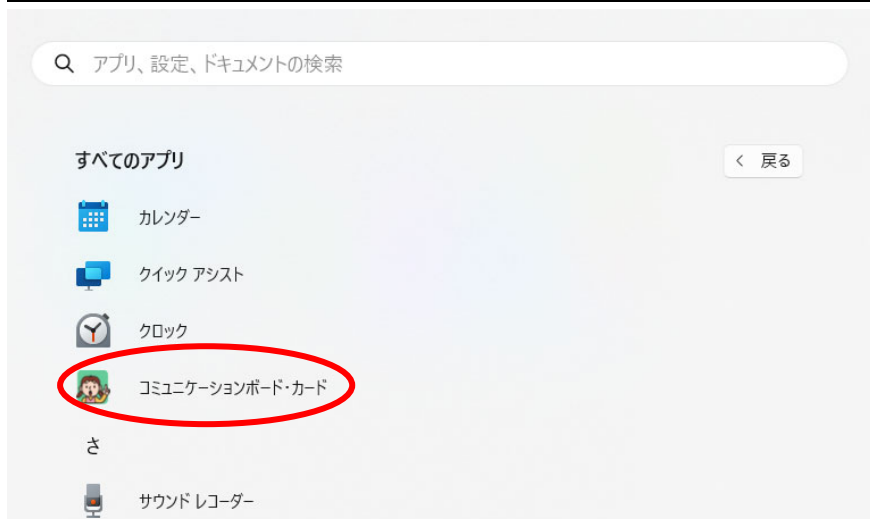


② スタートボタンからの起動

スタートボタンをクリックすると以下が現れますので、右上の「すべてのアプリ」をクリックします。



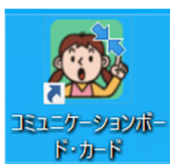
「すべてのアプリ」の一覧の中に「コミュニケーションボード・カード」がありますので、それをクリックしてください。



1-2. Windows10 の場合

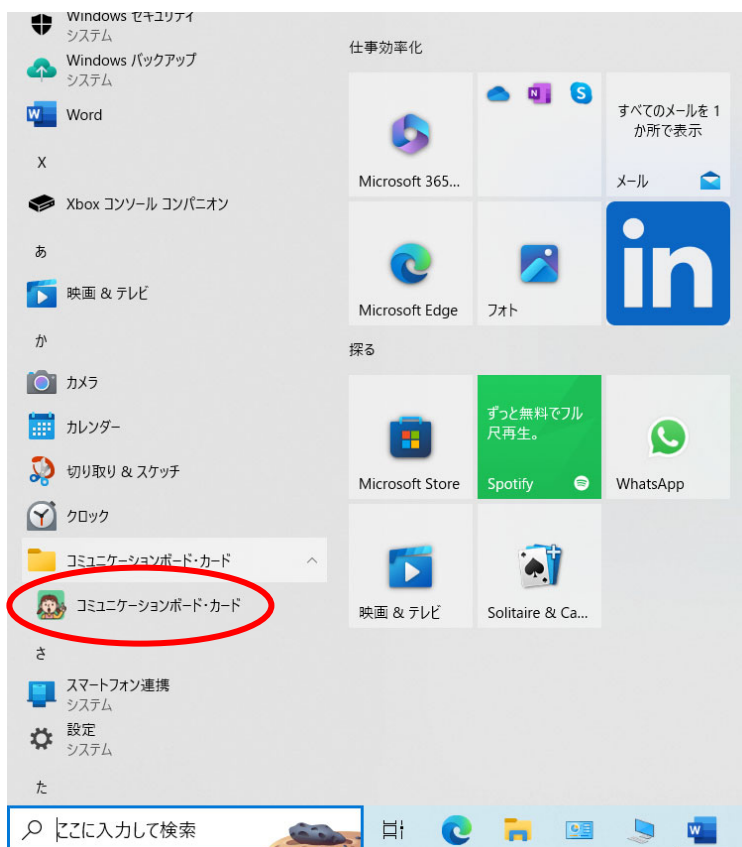
① ショートカットアイコンからの起動

デスクトップ画面のショートカットアイコンをダブルクリック（またはクリック）します。



② スタートボタンからの起動

スタートボタンをクリックして、左側の一覧の中に「コミュニケーションボード・カード」がありますので、それをクリックしてください。



2. オープニングメニュー

ソフトを起動すると以下の画面が現れます。



オリジナルコミュニケーションボードを作成される場合には、以下のボタンをクリックしてください。



コミュニケーションカードを作成される場合には、以下のボタンをクリックしてください。



以下のボタンをクリックすると、セイフティーネットプロジェクト横浜のホームページが呼び出されます。



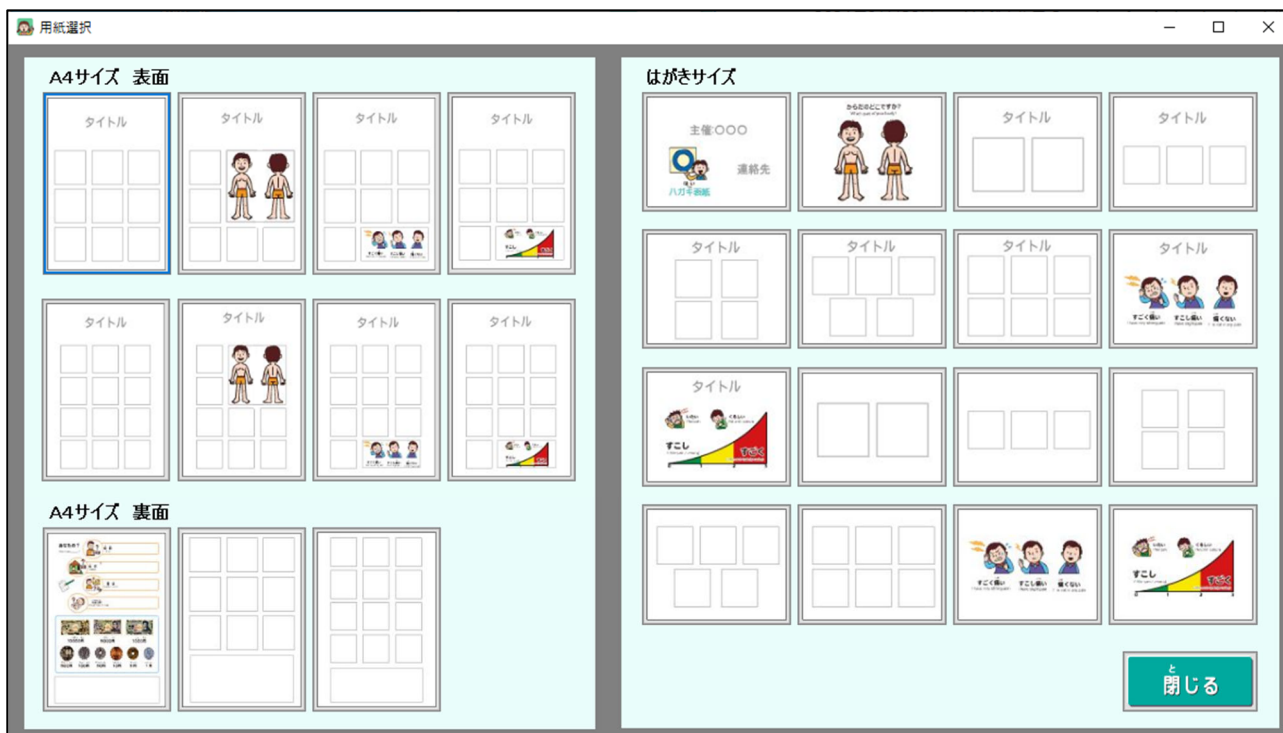
右側のお知らせ部分には、上段は本ソフトに関するお知らせが、下段にはセイフティーネットプロジェクト横浜のホームページからのお知らせが表示されます。

「バックアップ」「バックアップの復元」のボタンについては、「5. ファイルのバックアップと復元」をご覧ください。

3. オリジナルコミュニケーションボードの作成

3-1. 用紙の選択

以下のボタンをクリックすると、用紙を選択する画面が現れます。



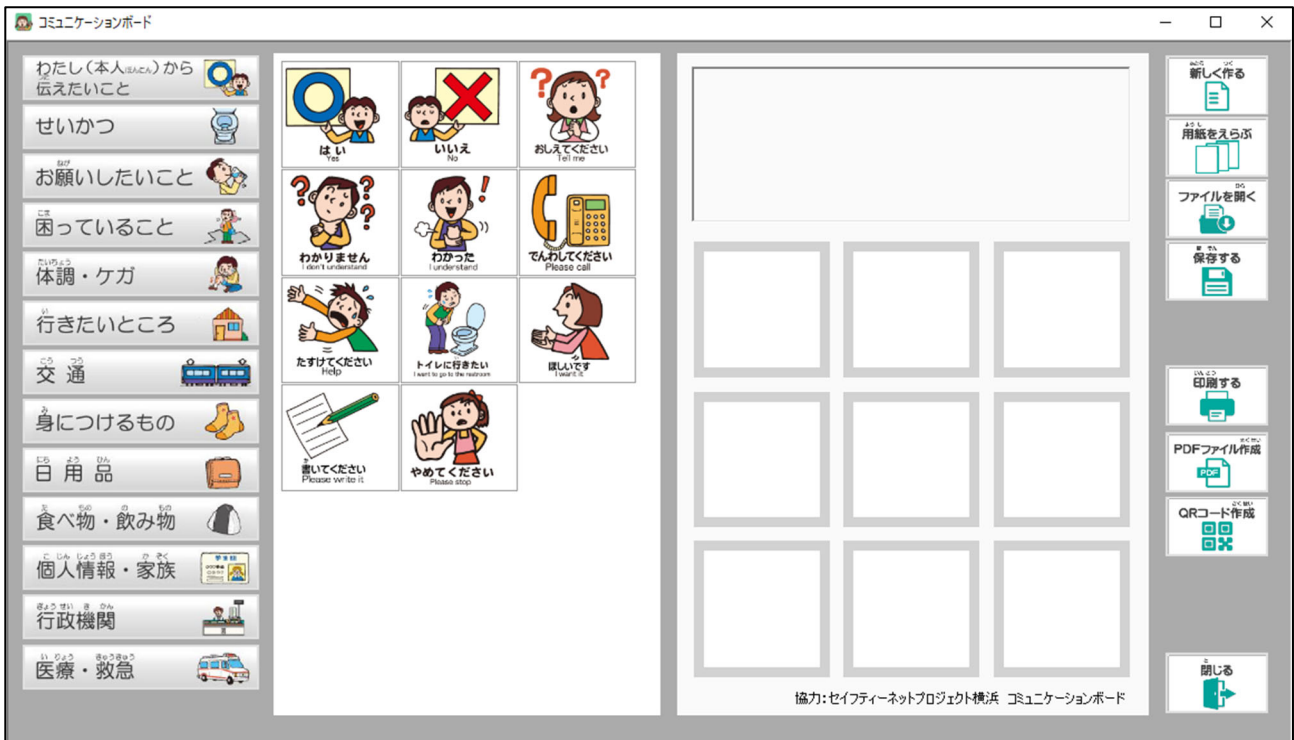
左側がA4サイズの用紙で、右側がはがきサイズの用紙です。この中から作成したいボードの用紙を選択してください。

ここでは、A4サイズの最初の用紙（左上の用紙）について、オリジナルコミュニケーションボードの作成方法を説明します。

以下のボタンをクリックします。



以下の作成画面が現れます。



作成画面の左側にある、左図のボタンからカテゴリ別のイラストを選択します。

なお、最初に表示されるイラストは、一番上のボタンの「わたし(本人)から伝えたいこと」のイラストになります。

表示されるイラストは、セーフティネットプロジェクト横浜のサーバー上にアップロードされているものです。

そのため、インターネットに接続されている環境が必要になりますのでご注意ください。

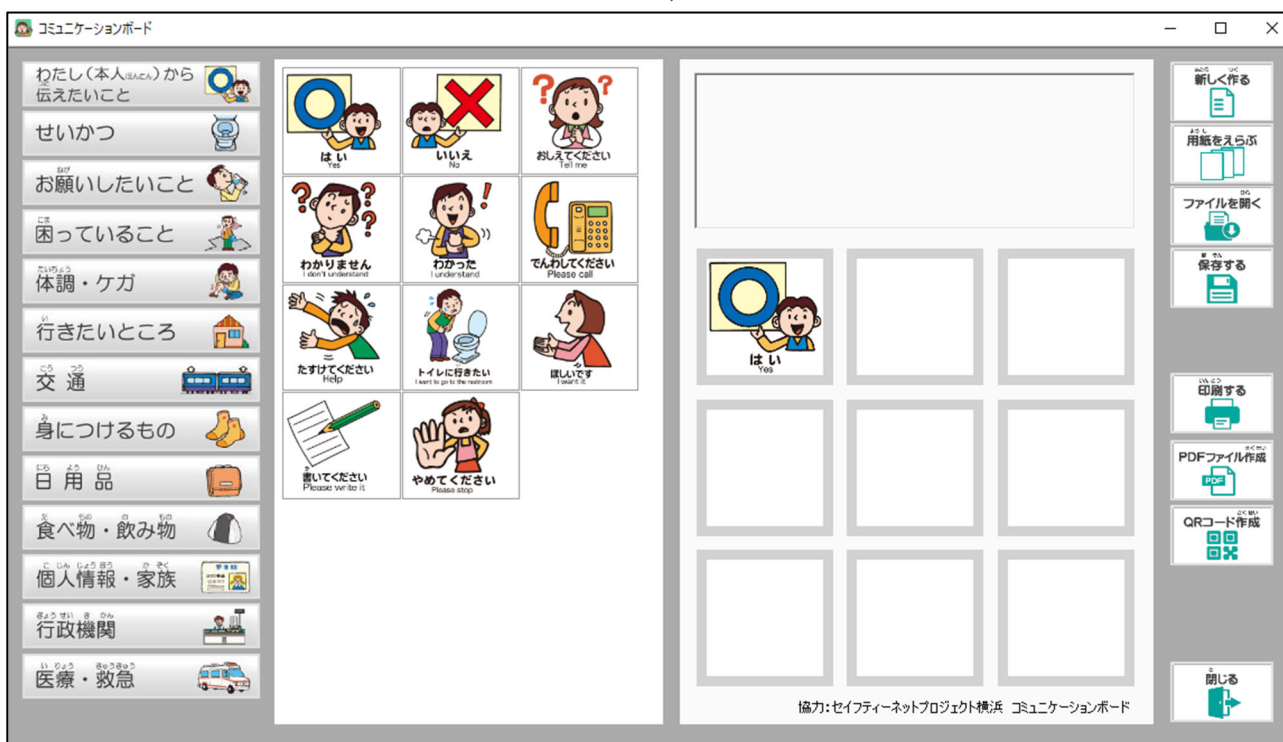
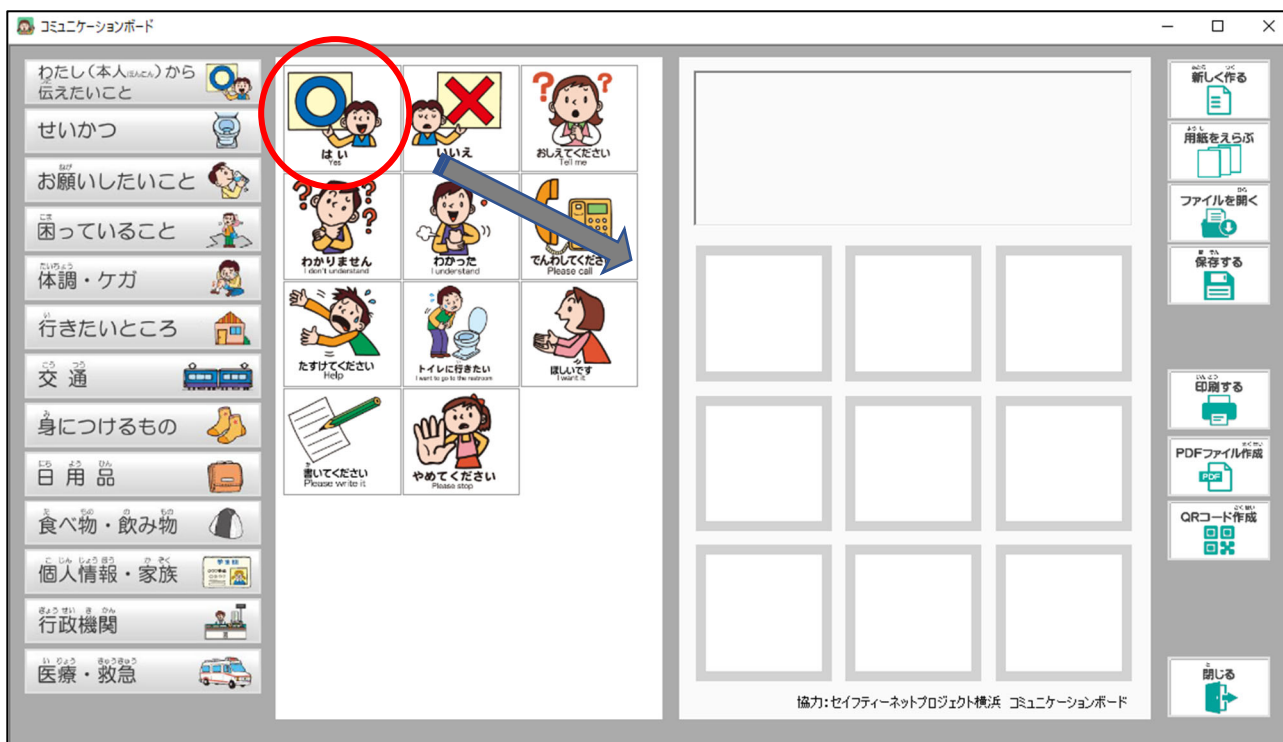
また、イラスト等の変更や追加・削除が行われた場合には、一覧に表示されるイラストが更新されます。

ただし、それを反映させるためには、ソフトを再起動する必要があります。オープニングメニューの「このソフトに関するお知らせ」で、その旨をご連絡いたします。

ここでは、「わたし(本人)から伝えたいこと」のイラストを使用して作成方法を説明します。

3-2. イラストの選択・貼り付け

左側のイラスト一覧から使用したいイラストを、右側の用紙の配置したい場所にドラッグして持って行きます。



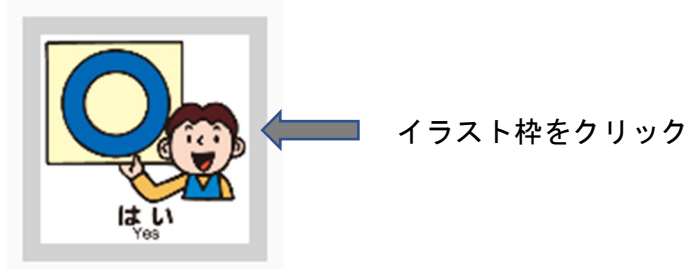
貼り付けたイラストの位置を変更したい場合には、イラストをドラッグして変更したい場所まで移動させます。

イラストを削除したい場合には、イラスト枠の外側にドラッグしてマウスの指を離します。

用紙に貼り付けたイラストの上に、別のイラストを貼り付けると、前のイラストが削除され別のイラストに置き換わります。

3-3. イラスト枠の色の選択

イラスト枠に色を付ける場合には、まずイラスト枠をクリックします。



以下の「色の設定」が現れますので、色を選択して「OK」ボタンをクリックします。



以下のように、イラスト枠に色が付きます。（ここでは青色を選択した場合です。）



イラスト枠は、クリックしやすいように太くしてありますが、印刷ではインクの消費を抑えるため、細い枠になります。

3-4. 文字の入力・編集

① 文字の入力

タイトル等の文字を入力するには、文字入力エリアをクリックします。



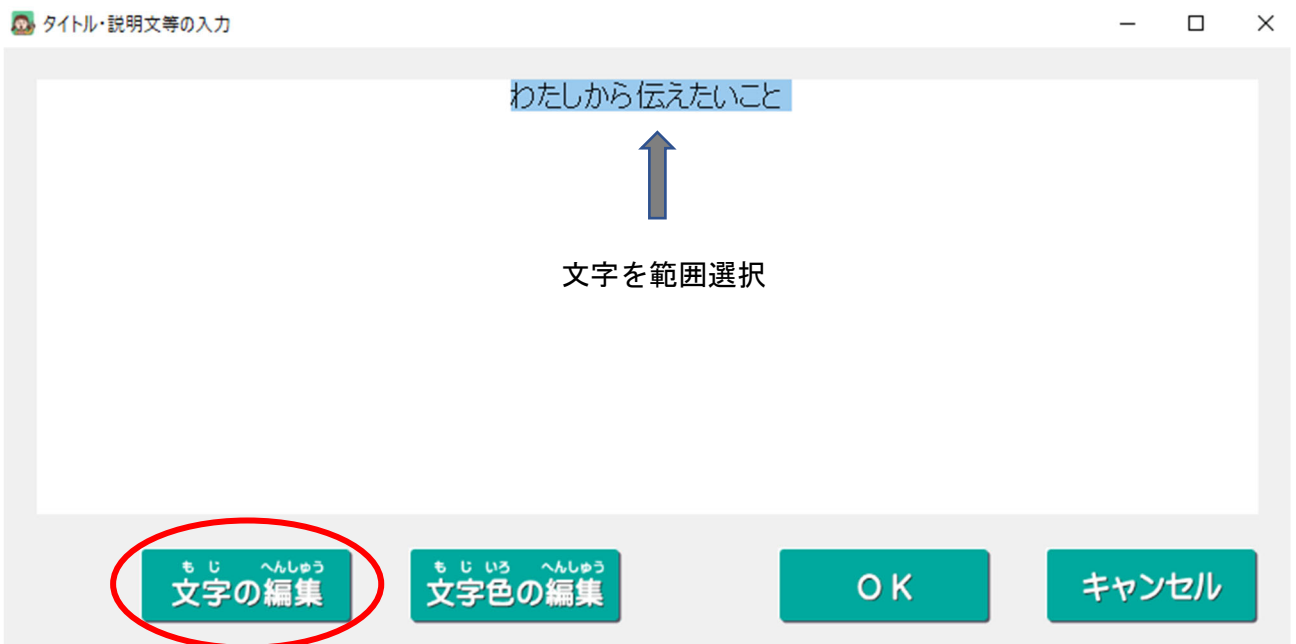
以下の文字を入力・編集するためのフォームが現れますので、タイトル等の文字を入力します。
 タイトルの文字として、仮に「わたしから伝えたいこと」を入力します。
 なお、文字配置は中央揃えになっています。



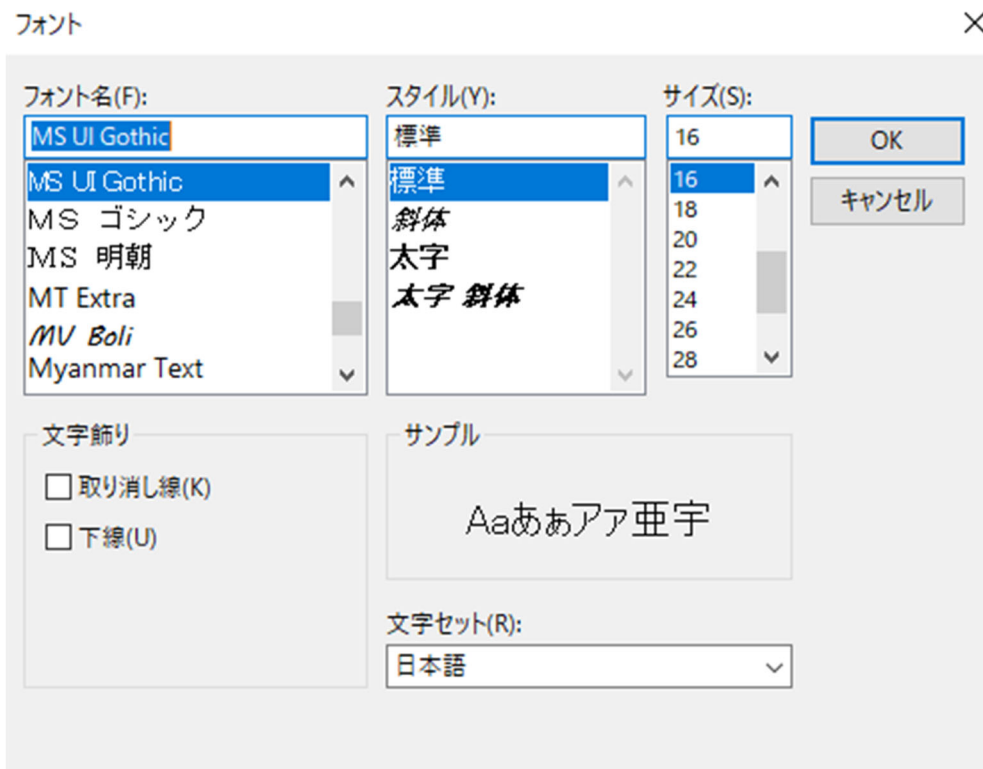


② 文字の大きさ・書体等の編集

入力した文字の大きさ・書体等を編集するためには、まず編集したい場所の文字を範囲選択して、「文字の編集」ボタンをクリックします。

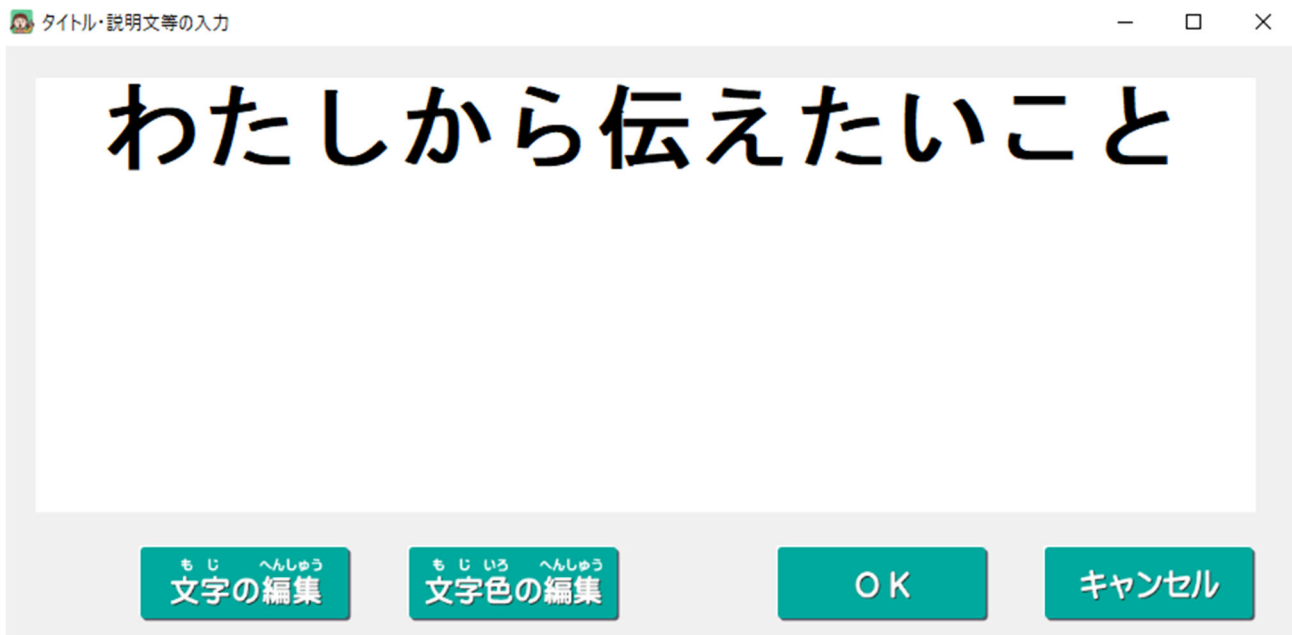


以下が現れますので、好みの「フォント名」「スタイル」「サイズ」を選択して右側の「OK」ボタンをクリックしてください。



ここでは、フォント名をMSゴシック、スタイルは太字、サイズは48を選択することになります。

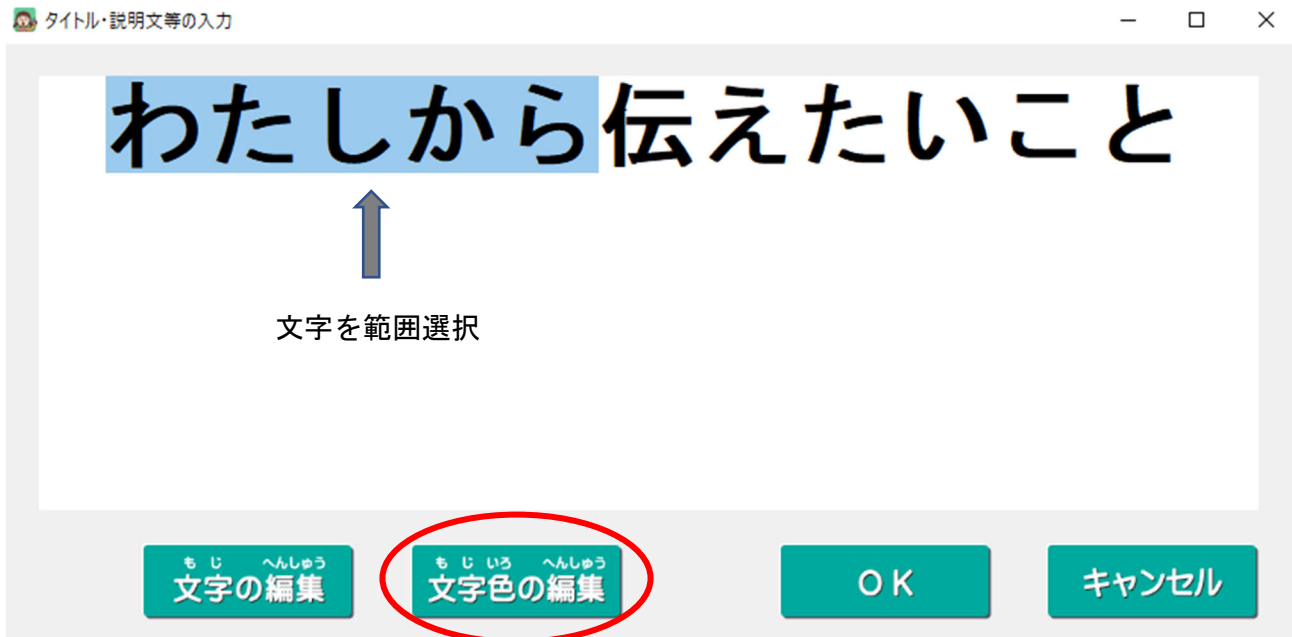
すると、文字が以下のように変わります。



③ 文字色の編集

文字色を変更する場合には、まず変更したい場所の文字を範囲選択して「文字色の編集」ボタンをクリックします。

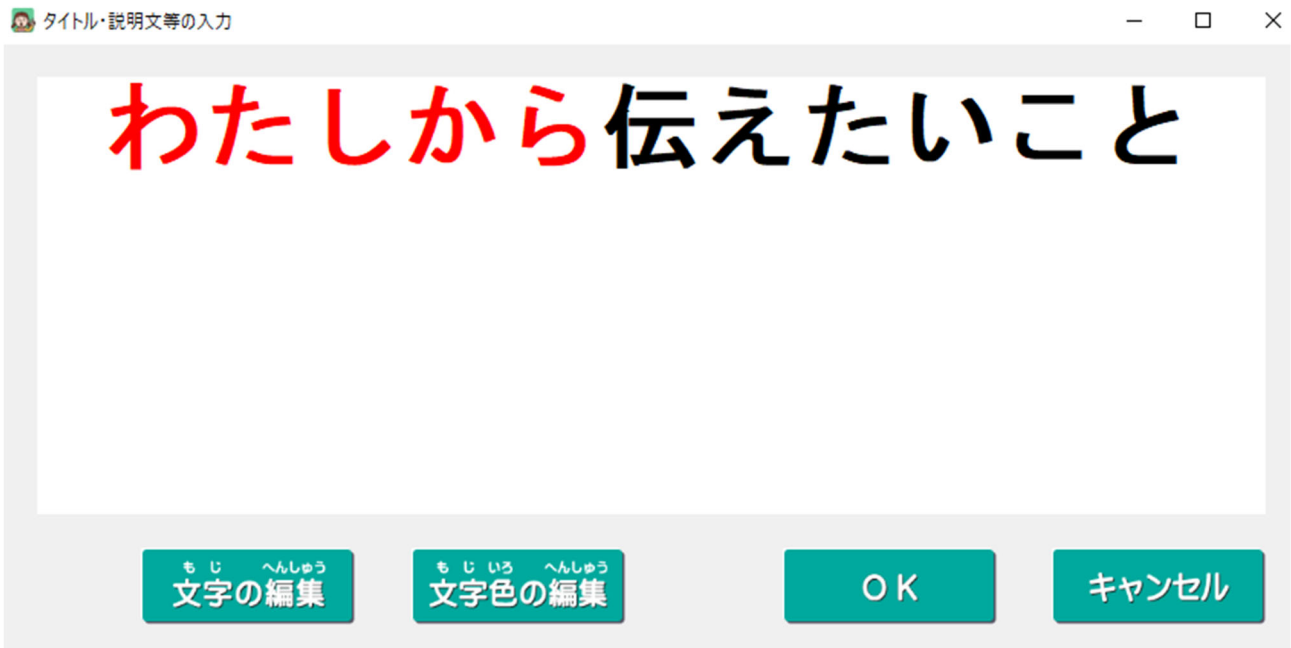
ここでは、「わたしから」の文字を赤色にします。



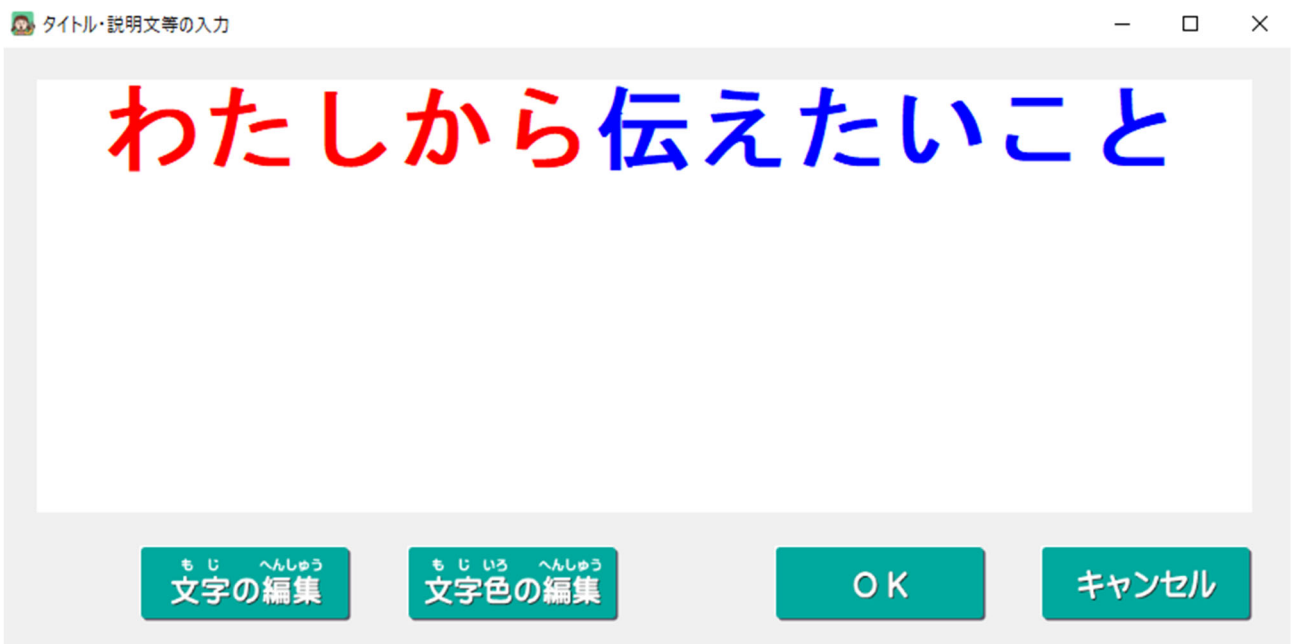
以下が現れますので、色を選択（クリック）して「OK」ボタンをクリックしてください。



以下のように文字色が変わります。



同様にして、「伝えたいこと」の文字を範囲選択して青色に変更します。



以上のように文字色が変更されます。

また、文字の大きさを小さくして、ボードの説明文等を入力することが出来ます。

文字入力には、文字入力エリア内に収めてください。エリアから外れた文字はボードには貼り付きませんのでご注意ください。

わたしから伝えたいこと

ここに説明等の入力ができます。

文字の大きさにより、入力できる文字数が変わります。
文字入力の枠内に文字が収まるように入力してください。

もじ へんしゅう
文字の編集

もじいろ へんしゅう
文字色の編集

OK

キャンセル

入力が終わりましたら「OK」ボタンをクリックしてください。
ボードの文字入力エリアに文字が貼り付きます。

わたしから伝えたいこと

ここに説明等の入力ができます。

文字の大きさにより、入力できる文字数が変わります。
文字入力の枠内に文字が収まるように入力してください。

 はい Yes	 いいえ No	 おしえてください Tell me
 わかりません I don't understand	 わかった I understand	 たすけてください Help
 でんわしてください Please call	 トイレに行きたい I want to go to the restroom	 ほしいです I want it

協力:セーフティネットプロジェクト横浜 コミュニケーションボード

入力した文字を編集したい場合には、文字入力エリアをクリックします。

再び文字を入力・編集するためのフォームが現れますので、編集したい文字を範囲選択して編集を行ってください。

3-5. 作成したボードの保存

右側にある「保存する」のボタンをクリックします。

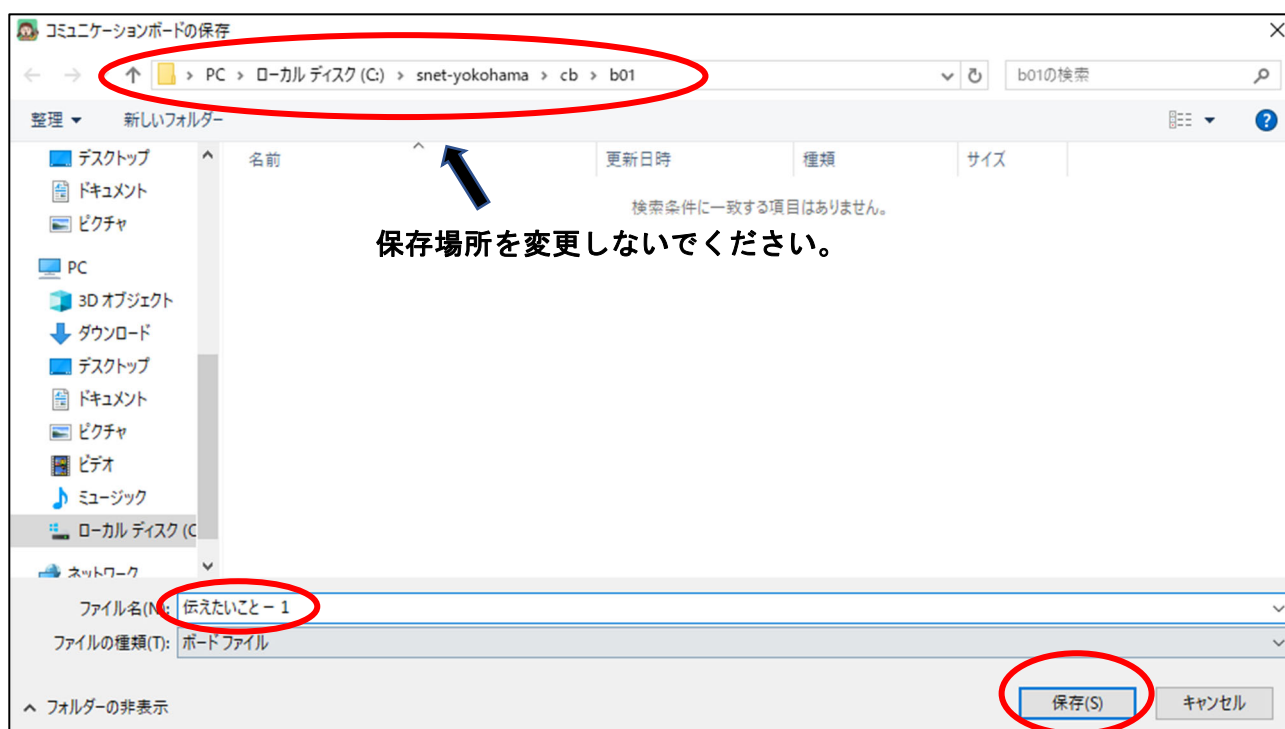


以下が現れますので、ファイル名の欄に保存する名前を入力して、右下の「保存(S)」のボタンをクリックしてください。

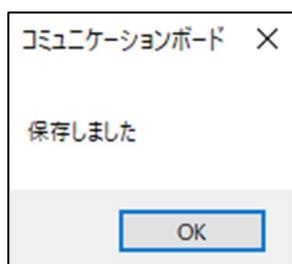
ここでは、ファイル名を「伝えたいこと-1」として保存することにします。

なお、保存する場所は決められた場所に設定されておりますので、変更しないようにお願いいたします。

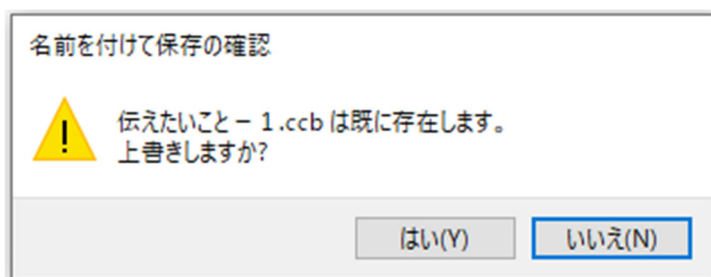
保存するファイルは用紙ごとに管理しますので、保存する場所は用紙ごとに異なります。



保存が完了すると、以下のメッセージが現れます。



なお、同じファイル名で保存する場合には上書き保存となり、以下のメッセージが現れます。



上書きして良い場合には、「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。

3-6. 保存したボード（ファイル）を呼び出す

オープニングメニューで、呼び出したいボードの用紙を選択します。

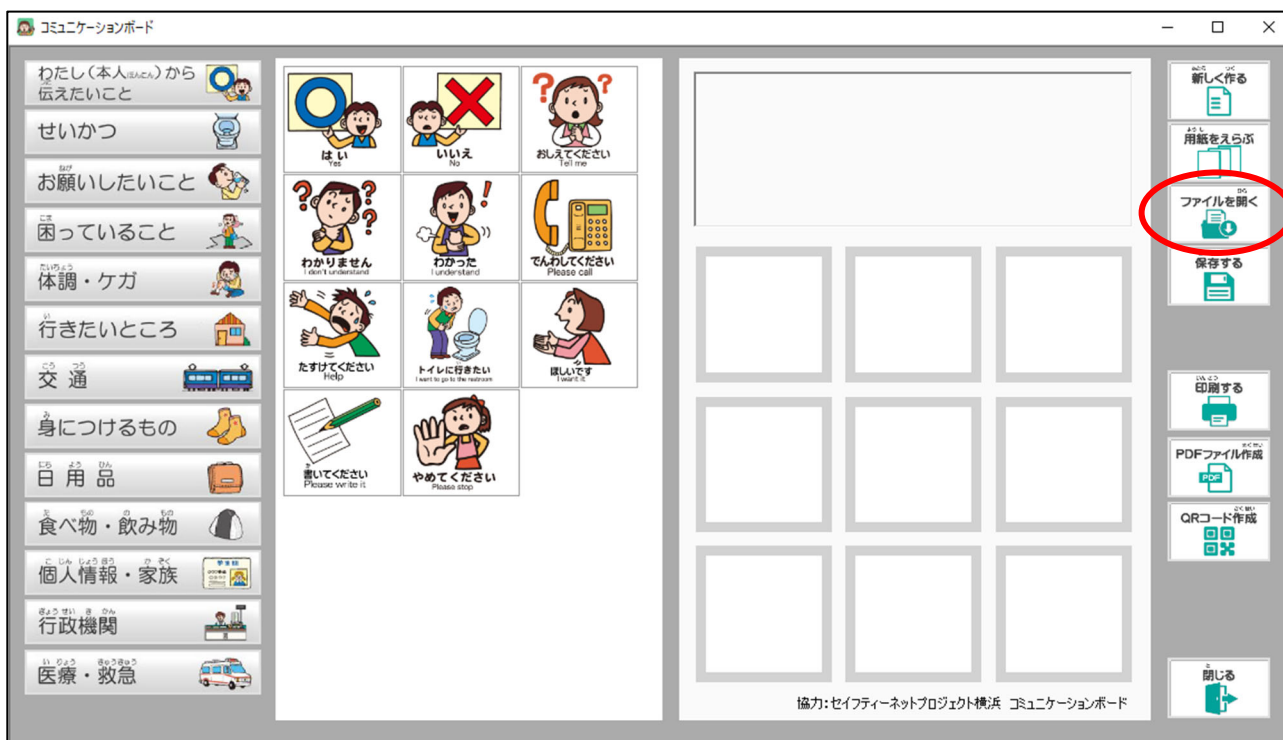
今回は、先ほど作成して保存した「伝えたいこと-1」を呼び出すことにします。

まず、該当するボードの用紙をクリックします。

（保存したファイルは用紙ごとに管理されていますので、保存したファイルの用紙を選択することから始まります。）



以下の作成画面が現れますので、右側にあるボタンの「ファイルを開く」ボタンをクリックします。



以下が現れますので、ファイル名の「伝えたいこと-1」をクリックして、「開く(O)」ボタンをクリックします。



以下のように、保存したボードのファイルが呼び出されます。



3-7. ボードの印刷

作成したボードを印刷する時は、以下の「印刷する」ボタンをクリックします。



以下の印刷の設定が現れますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

印刷するプリンターを変更する場合には、「プリンター名 (N)」から該当するプリンターを選択してください。

A screenshot of the '印刷' (Print) dialog box. It has a title bar with '印刷' and a close button. The main area is divided into several sections: 'プリンター' (Printer) with a dropdown menu showing 'SHARP BP-60C31 SPDL2-c' and a 'プロパティ(P)...' button; '状態:' (Status) '準備完了' (Ready); '種類:' (Type) 'SHARP BP-60C31 SPDL2-c'; '場所:' (Location) '192.168.0.253'; 'コメント:' (Comment) with a checkbox for 'ファイルへ出力(L)' (Output to file). Below this is the '印刷範囲' (Print Range) section with three radio buttons: 'すべて(A)' (All), 'ページ指定(G)' (Page selection) with input fields for 'ページから(F)' (Page from) and 'ページまで(T)' (Page to), and '選択した部分(S)' (Selected parts). To the right is the '印刷部数' (Print Count) section with a '部数(C):' (Number of copies) spinner set to '1' and a checked checkbox for '部単位で印刷(O)' (Print by page). At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

なお、印刷プレビュー画面は現れずに印刷が実行されます。

プリンターのカラー設定がグレースケールに設定されている場合には、「プロパティ (P)」ボタンをクリックして、現れたプリンターの設定画面でカラーに変更してください。

ハガキサイズの内紙を印刷する場合には、プリンターのプロパティで用紙のサイズを「ハガキ」に変更してから行ってください。

詳細はプリンターのマニュアル等をご覧ください。

作成したボードは以下のように印刷されます。イラスト枠は細く印刷されます。

わたしから伝えたいこと

ここに説明等の入力出来ます。

文字の大きさにより、入力できる文字数が変わります。
文字入力の枠内に文字が収まるように入力してください。



協力: セイフティネットプロジェクト横浜 コミュニケーションボード

3-8. PDFファイルの作成

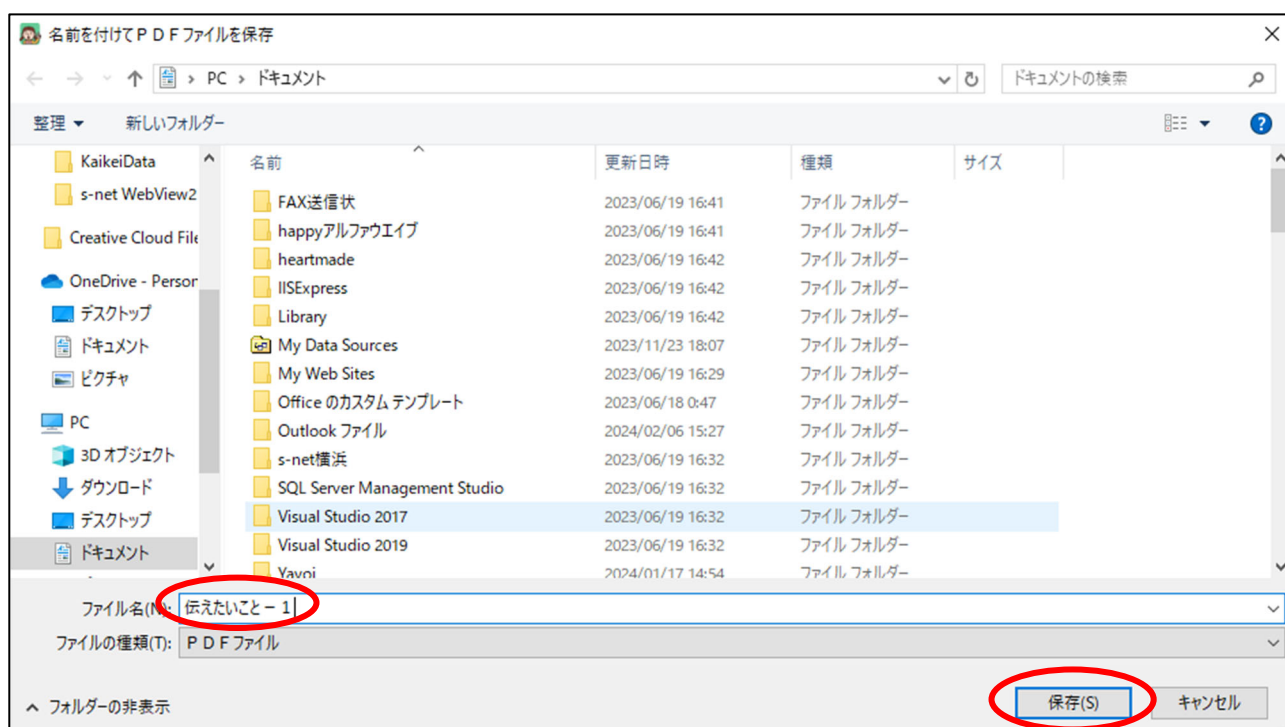
作成したボードをPDFファイルで保存することが出来ます。

以下の「PDFファイル作成」ボタンをクリックします。

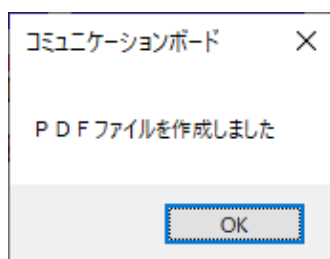


以下が現れますので、ファイル名の欄に保存する名前を入力して、右下の「保存(S)」のボタンをクリックしてください。

(ここでは、ファイル名を「伝えたいこと-1」として保存することにします。)

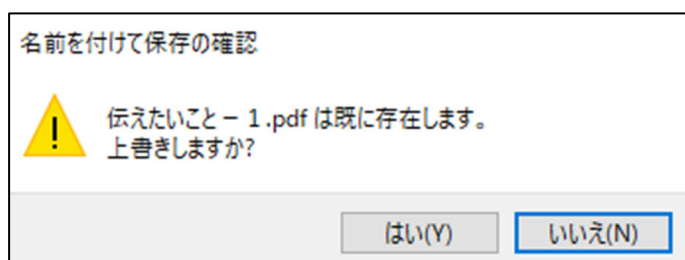


標準の保存場所は「ドキュメント」になっておりますが、異なる場所に保存したい場合には変更してください。



PDFファイルが作成されると、作成完了の左のメッセージが表示されます。

なお、作成したPDFファイルは表示されません。



同じファイル名で保存すると、左のメッセージが現れます。

上書きの場合には、「はい」ボタンをクリックしてください。

3-9. スマートフォン・タブレットへの転送

作成したボードをスマートフォンやタブレットで表示することができます。

なお、スマートフォンやタブレットで表示させるためにQRコードを使用します。

まず、以下の「QRコード作成」ボタンをクリックします。

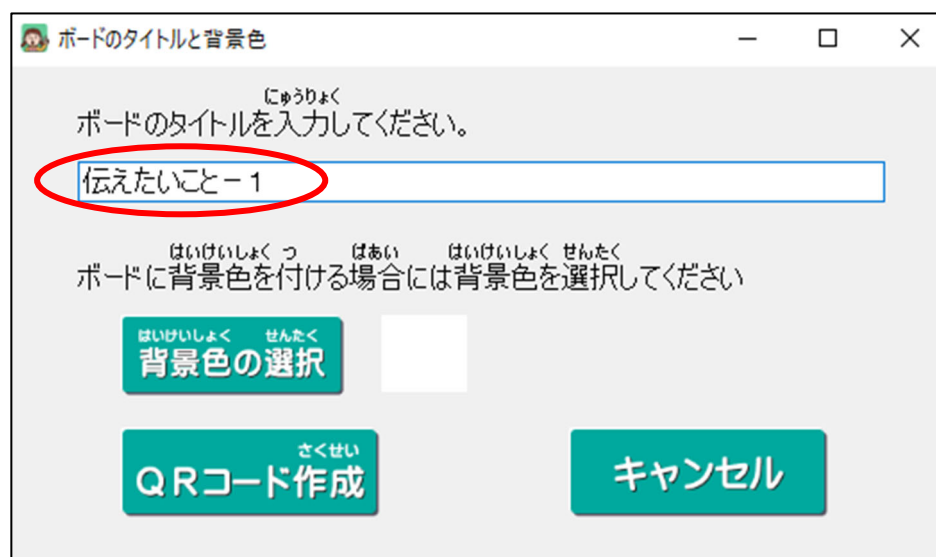


以下の「ボードのタイトルと背景色」の設定が現れますので、タイトルと背景色の選択を行います。

タイトルは、スマートフォンやタブレットで表示されるボードの上部に表示されます。

このタイトルは、スマートフォンやタブレットに表示されたボードをダウンロードする場合のタイトル名となります。

ここでは、タイトルは「伝えたいこと-1」とします。



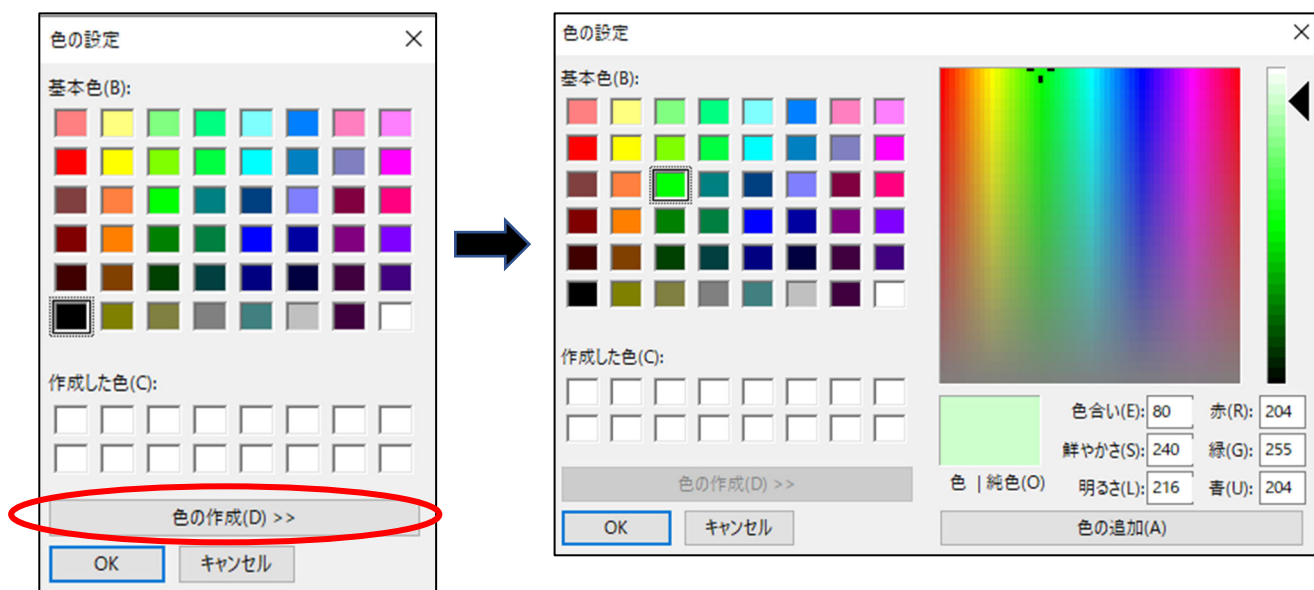
背景色の選択には、「背景色の選択」ボタンをクリックします。

以下が現れますので、色を選択（クリック）して「OK」ボタンをクリックしてください。

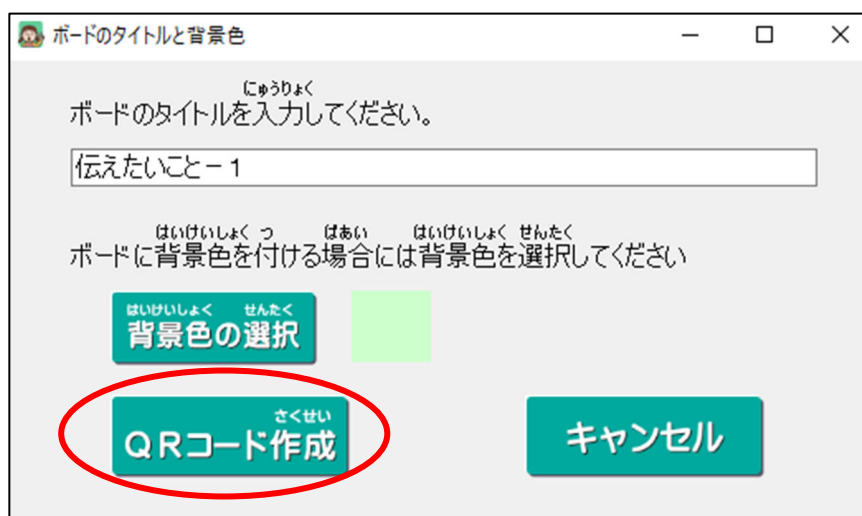


なお、「色の作成(D)」ボタンをクリックすると、右側のグラデーションが現れますので、右端の三角のマークを上にもスライドし色を薄くしてください。

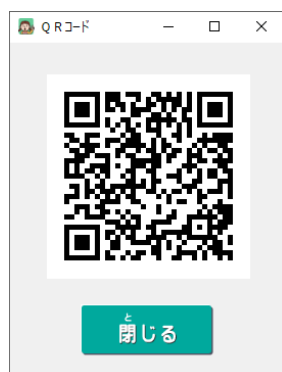
背景色が濃いとボードのイラストや文字が見えにくくなりますので、背景色は薄くすることをお勧めします。



色を選択すると以下のように設定が完了しますので、「QRコード作成」ボタンをクリックしてください。



以下のようにQRコードが作成されます。



QRコードを読み取る場合には、タイトルに日本語を使用した場合には、「カメラアプリ」からではなく「QRコード読み取り用のアプリ」からお願いいたします。

(カメラアプリから読み取るとエラーになります。)

なお、タイトルを半角英数にした場合にはカメラアプリからでも読み取ることができます。

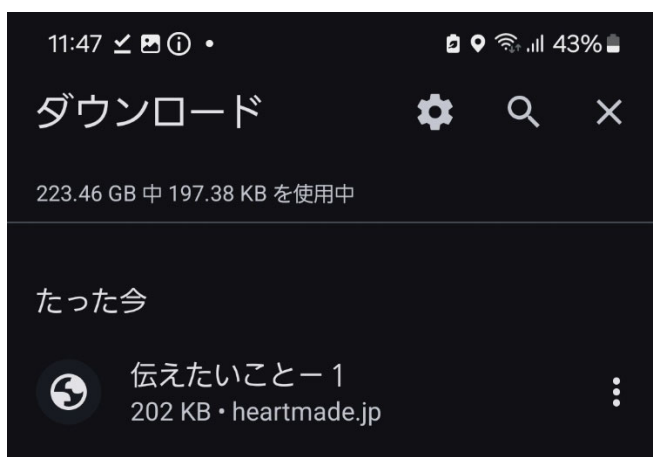
QRコードを読み取ると、スマートフォンでは以下のように表示されます。

入力したタイトルの「伝えたいこと-1」は、上部に表示されます。



イラストをタップすると、そのイラストが拡大表示されます。

「Google Chrome」で表示させダウンロードすると、以下のように指定のダウンロードフォルダにページがダウンロードされます。



タイトルで入力した「伝えたいこと-1」は、ダウンロードしたファイルのタイトル名になります。

※ スマートフォン・タブレットでの運用の注意事項

QRコードで読み込んだ後は、必ずダウンロードしてください。3日後にはサーバー上に一時的にアップロードされたファイルは削除されます。

サーバーで削除されても、ダウンロードがされていれば、それを呼び出すことにより表示させることができます。

ただし、「再読み込み」は行わないでください。サーバー上に一時的にアップロードされたファイルは3日後には存在しませんので、「再読み込み」をしますと表示が消えてしまいます。

消えてしまった場合には、ダウンロードしたファイルをもう一度呼び出してください。

また、インターネットが遮断された環境でも使用できるように、スマートフォンやタブレットに読み込んだ際には、ボードの全てのイラストをタップして拡大表示させてください。

3-10. 同じ用紙で新しく作成する場合

「新しく作る」ボタンをクリックすると、選択している用紙に新たに作成が出来るように、初期画面になります。



3-11. 別の用紙を選択する場合

「用紙をえらぶ」ボタンをクリックすると、用紙の選択画面が現れ、別の用紙を選択して作成することができます。



3-12. 画面を閉じる場合

右下の「閉じる」ボタンをクリックすると、ボードの作成画面が閉じます。



4. コミュニケーションカードの作成

以下のボタンをクリックすると、コミュニケーションカードを作成する画面が現れます。



作成画面の左側にある、左図のボタンからカテゴリ別のイラストを選択します。

なお、最初に表示されるイラストは、一番上のボタンの「わたし(本人)から伝えたいこと」のイラストになります。

表示されるイラストは、セーフティーネットプロジェクト横浜のサーバー上にアップロードされているものです。

そのため、インターネットに接続されている環境が必要になりますのでご注意ください。

また、イラスト等の変更や追加・削除が行われた場合には、一覧に表示されるイラストが更新されます。

ただし、それを反映させるためには、ソフトを再起動する必要があります。オープニングメニューの「このソフトに関するお知らせ」で、その旨をご連絡いたします。

4-1. イラストの選択・貼り付け

左側のイラスト一覧から使用したいイラストを、右側の用紙の配置したい場所にドラッグして持って行きます。



貼り付けたイラストの位置を変更したい場合には、イラストをドラッグして変更したい場所まで移動させます。

イラストを削除したい場合には、イラスト枠の外側にドラッグしてマウスの指を離します。

用紙に貼り付けたイラストの上に、別のイラストを貼り付けると、前のイラストが削除され別のイラストに置き換わります。

4-2. 作成したカードの保存

右側にある「保存する」のボタンをクリックします。



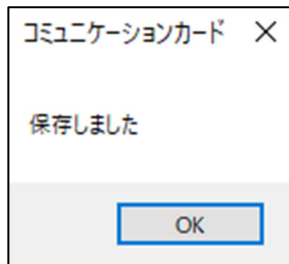
以下が現れますので、ファイル名の欄に保存する名前を入力して、右下の「保存(S)」のボタンをクリックしてください。

ここでは、ファイル名を「カードー 1」として保存することにします。

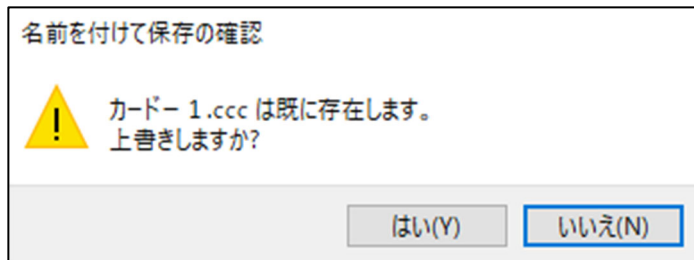
なお、保存する場所は決められた場所に設定されておりますので、変更しないようにお願いいたします。



保存が完了すると、以下のメッセージが現れます。



なお、同じファイル名で保存する場合には上書き保存となり、以下のメッセージが現れます。



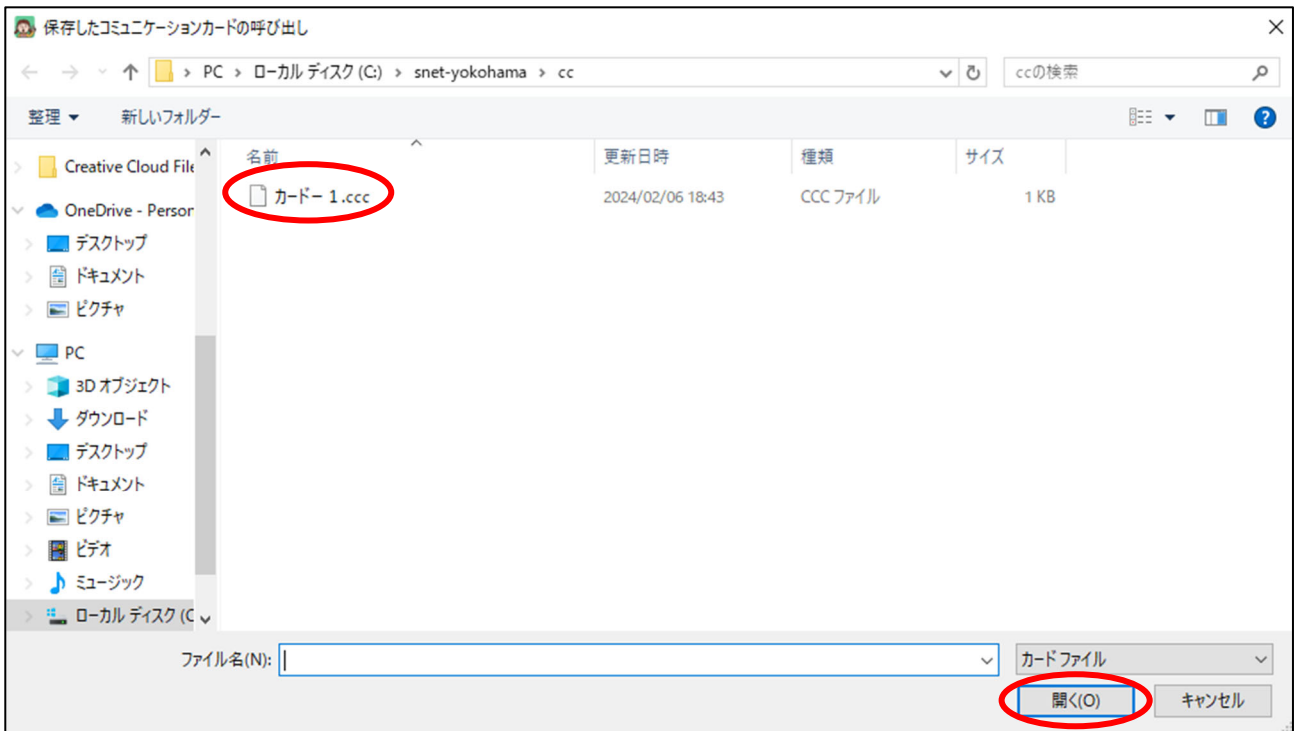
上書きして良い場合には、「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。

4-3. 保存したカード（ファイル）を呼び出す

作成したカードを呼び出すには、右側の「ファイルを開く」ボタンをクリックします。



以下が現れますので、ファイル名の「カードー 1」をクリックして、「開く (O)」ボタンをクリックします。



保存したカードが呼び出されます。



4-4. カードの印刷

作成したカードを印刷する時は、右側にある「印刷する」ボタンをクリックします。



以下の印刷の設定が現れますので、「プロパティ」でカードの用紙の設定を行い、「OK」ボタンをクリックしてください。

印刷するプリンターを変更する場合には、「プリンター名(N)」から該当するプリンターを選択してください。

印刷

プリンター

プリンター名(N): SHARP BP-60C31 SPDL2-c プロパティ(P)...

状態: 準備完了

種類: SHARP BP-60C31 SPDL2-c

場所: 192.168.0.253

コメント: ファイルへ出力(L)

印刷範囲

すべて(A)

ページ指定(G) ページから(F) ページまで(T)

選択した部分(S)

印刷部数

部数(C): 1

部単位で印刷(O)

OK キャンセル

※ 注意事項

カード用紙には、以下の寸法の名刺用紙を使用してください。

A4 10面

余白 上余白 11mm, 下余白 11mm

カード1枚の寸法 横幅 91mm, 高さ 55mm

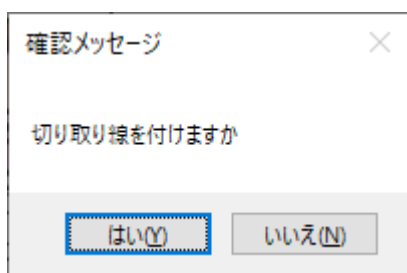
4-5. PDFファイルの作成

作成したカードをPDFファイルで保存することができます。
右側にある「PDFファイル作成」ボタンをクリックします。



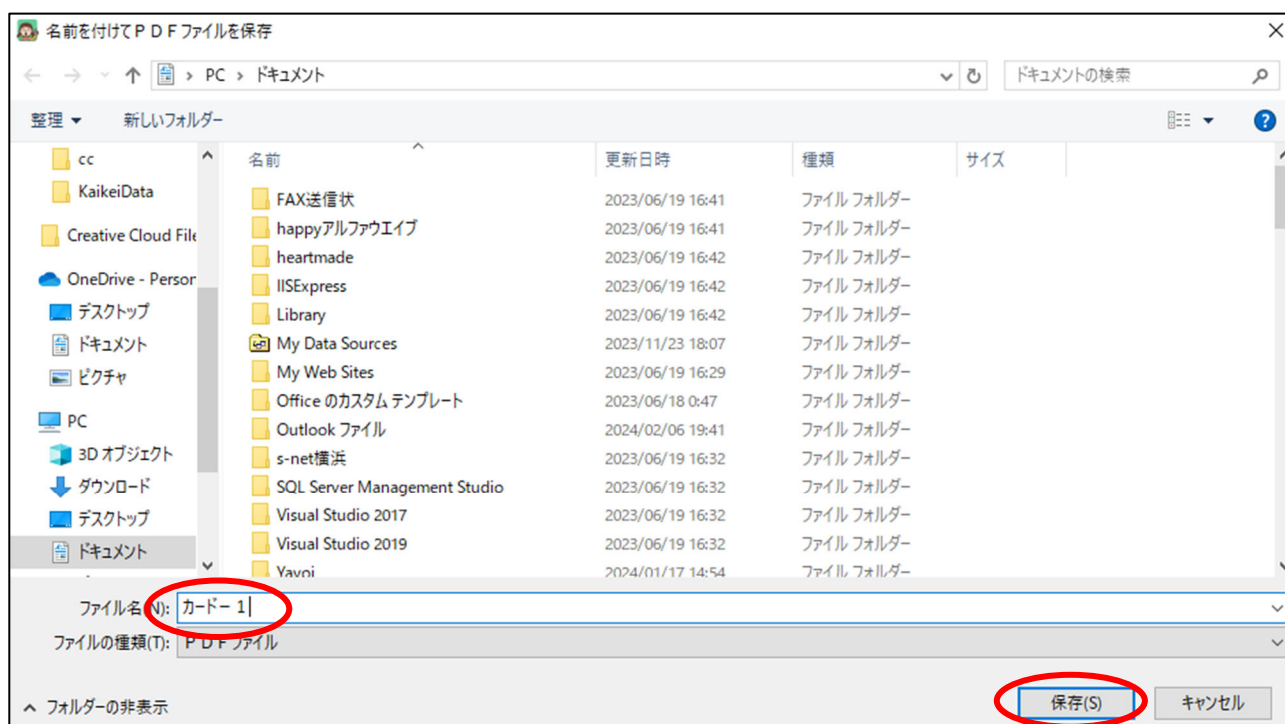
PDFファイルを印刷して切り取る場合を考慮し、切り取り線を付けるかの確認のメッセージが現れます。

切り取り線を付ける場合には、「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。

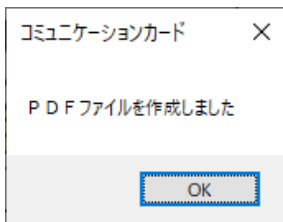


以下が現れますので、ファイル名の欄に保存する名前を入力して、右下の「保存(S)」のボタンをクリックしてください。

(ここでは、ファイル名を「カードー1」として保存することにします。)

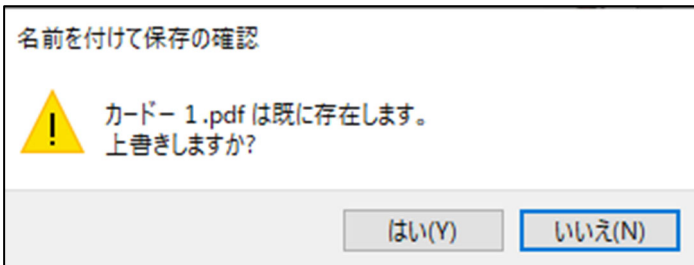


標準の保存場所は「ドキュメント」になっておりますが、異なる場所に保存したい場合には変更してください。



PDFファイルが作成されると、作成完了の左のメッセージが表示されます。

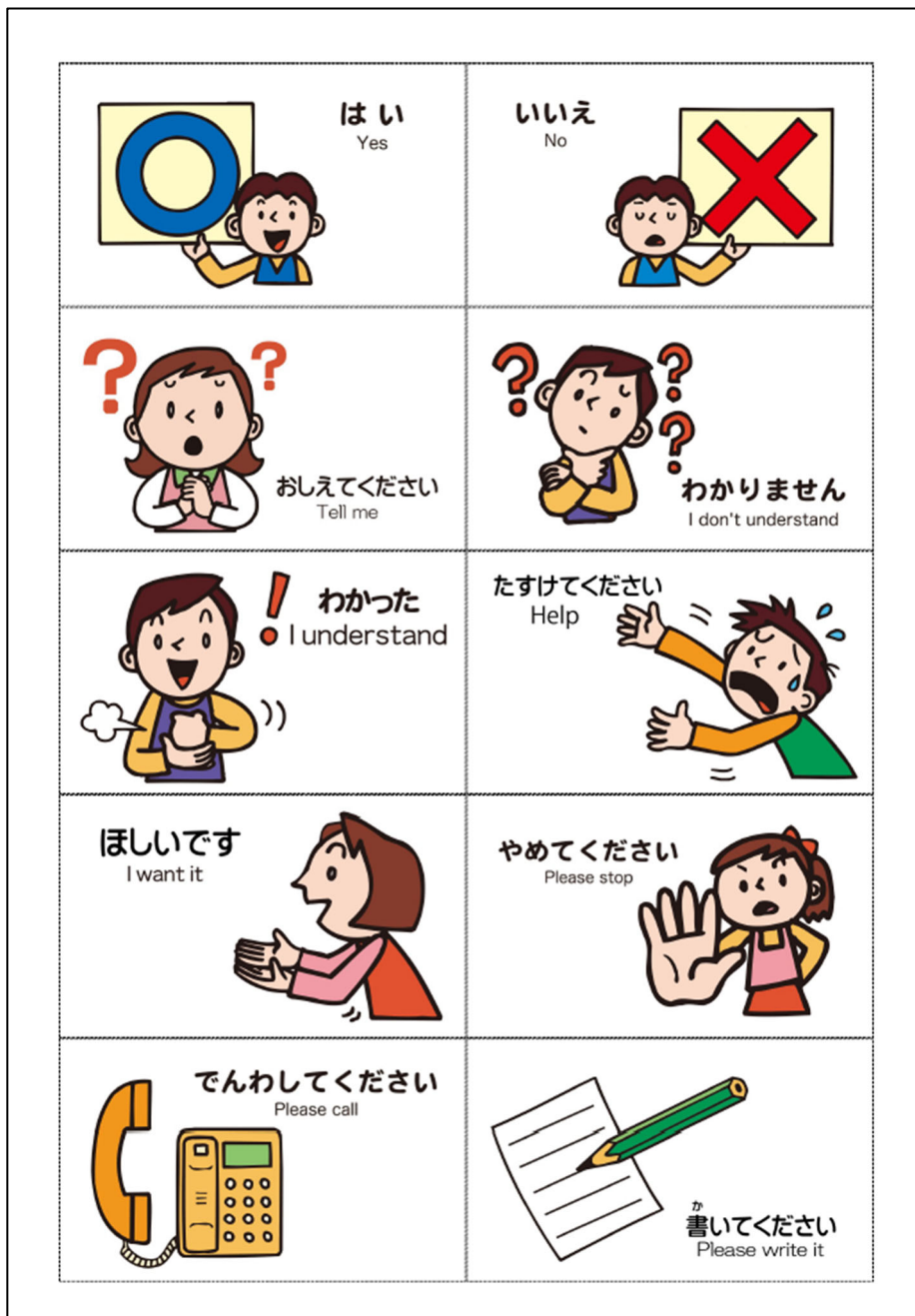
なお、作成したPDFファイルは表示されません。



同じファイル名で保存すると、左のメッセージが現れます。

上書きの場合には、「はい」ボタンをクリックしてください。

以下のようにPDFファイルが作成されます。(切り取り線を付けた場合)



4-6. スマートフォン・タブレットへの転送

作成したカードをスマートフォンやタブレットで表示することができます。

なお、スマートフォンやタブレットで表示させるためにQRコードを使用します。

まず、以下の「QRコード作成」ボタンをクリックします。

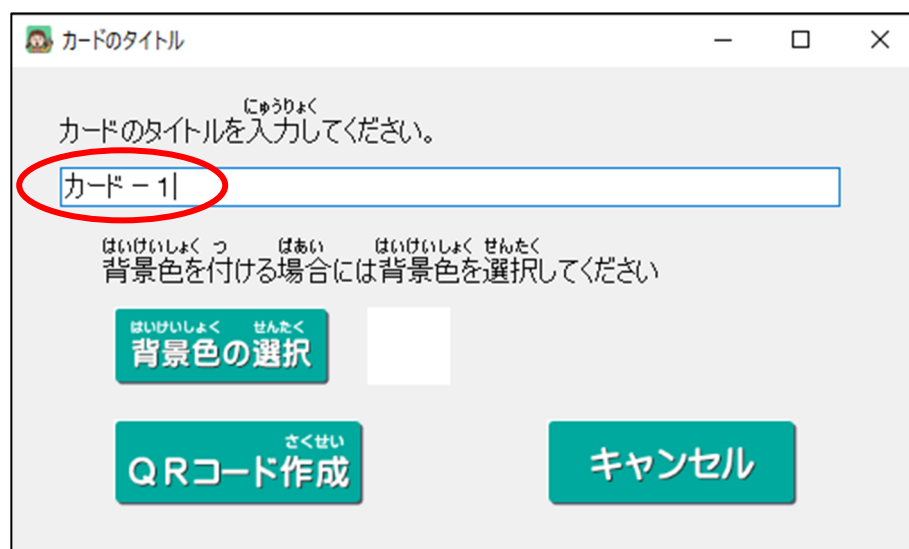


以下の「カードのタイトルと背景色」の設定が現れますので、タイトルと背景色の選択を行います。

タイトルは、スマートフォンやタブレットで表示されるカードの上部に表示されます。

このタイトルは、スマートフォンやタブレットに表示されたボードをダウンロードする場合のタイトル名となります。

ここでは、タイトルは「カードー1」とします。



背景色の選択には、「背景色の選択」ボタンをクリックします。

以下が現れますので、色を選択（クリック）して「OK」ボタンをクリックしてください。

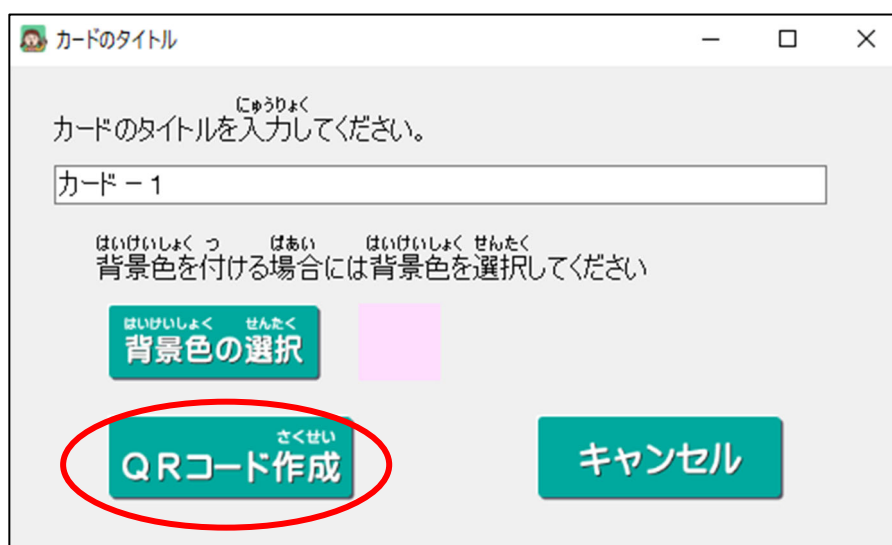


なお、「色の作成(D)」ボタンをクリックすると、右側のグラデーションが現れますので、右端の三角のマークを上にもスライドし色を薄くしてください。

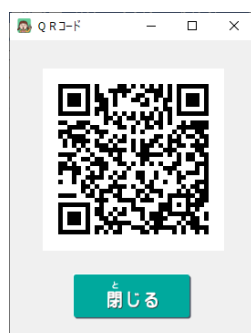
背景色が濃いとカードのイラストが見えにくくなりますので、背景色は薄くすることをお勧めします。



色を選択すると以下のように設定が完了しますので、「QRコード作成」ボタンをクリックしてください。



以下のようにQRコードが作成されます。



QRコードを読み取る場合には、タイトルに日本語を使用した場合には、「カメラアプリ」からではなく「QRコード読み取り用のアプリ」からお願いいたします。

(カメラアプリから読み取るとエラーになります。)

なお、タイトルを半角英数にした場合にはカメラアプリからでも読み取ることができます。

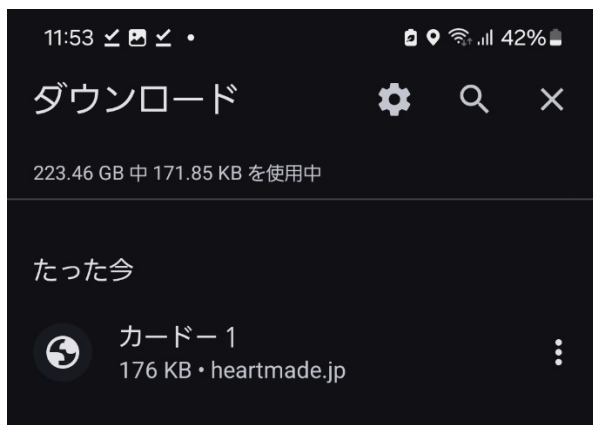
QRコードを読み取ると、スマートフォンでは以下のように表示されます。

入力したタイトルの「カードー1」は、上部に表示されます。



イラストをタップすると、そのイラストが拡大表示されます。

「Google Chrome」で表示させダウンロードすると、以下のように指定のダウンロードフォルダにページがダウンロードされます。



タイトルで入力した「カードー1」は、ダウンロードしたファイルのタイトル名になります。

※ スマートフォン・タブレットでの運用の注意事項

QRコードで読み込んだ後は、必ずダウンロードしてください。3日後にはサーバー上に一時的にアップロードされたファイルは削除されます。

サーバーで削除されても、ダウンロードがされていれば、それを呼び出すことにより表示させることができます。

ただし、「再読み込み」は行わないでください。サーバー上に一時的にアップロードされたファイルは3日後には存在しませんので、「再読み込み」をしますと表示が消えてしまいます。

消えてしまった場合には、ダウンロードしたファイルをもう一度呼び出してください。

また、インターネットが遮断された環境でも使用できるように、スマートフォンやタブレットに読み込んだ際には、カードの全てのイラストをタップして拡大表示させてください。

4-7. 新しくカードを作成する場合

「新しく作る」ボタンをクリックすると、新たなカードの作成ができるように、初期画面になります。



4-8. 画面を閉じる場合

右下の「閉じる」ボタンをクリックすると、カードの作成画面が閉じます。



5. ファイルのバックアップと復元

作成した全てのファイルをまとめて ZIP 形式でバックアップすることが出来ます。
パソコンのトラブル等を考慮し、作成後はバックアップすることをお勧めします。
また、パソコンを買い替えた場合等に、バックアップしたファイルを移すことができます。

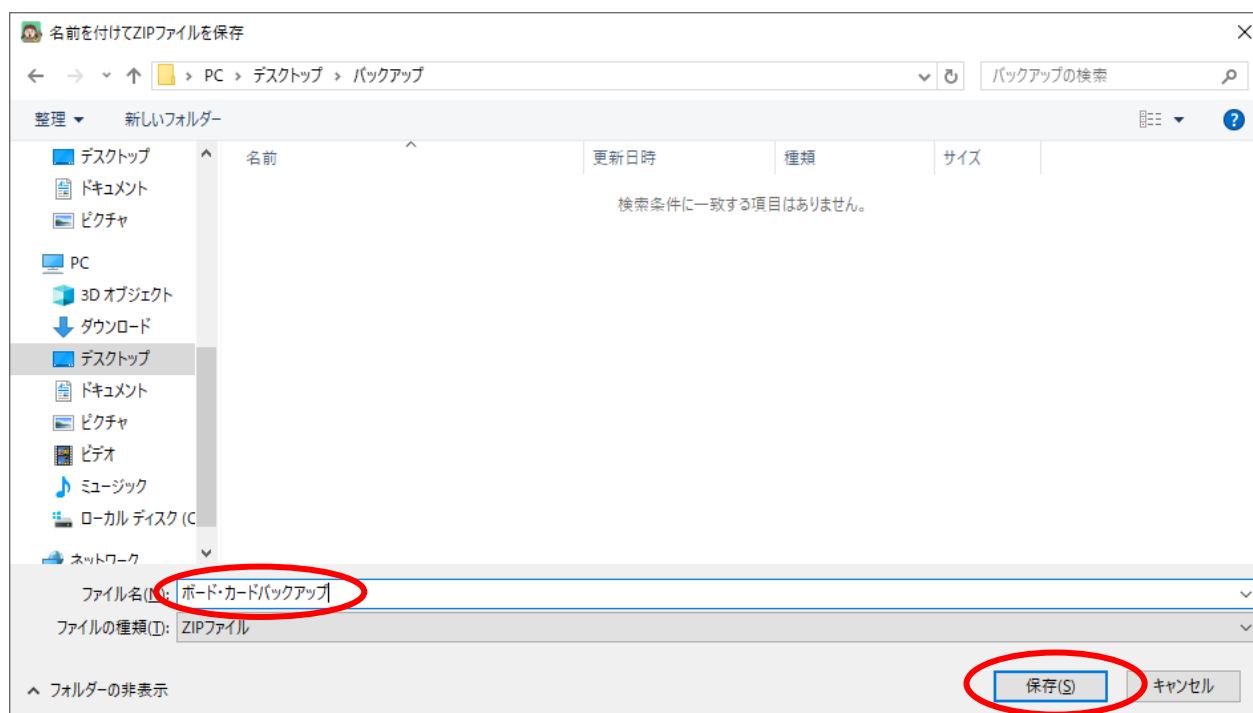
5-1. ファイルのバックアップ

オープニングメニューの「バックアップ」ボタンをクリックします。

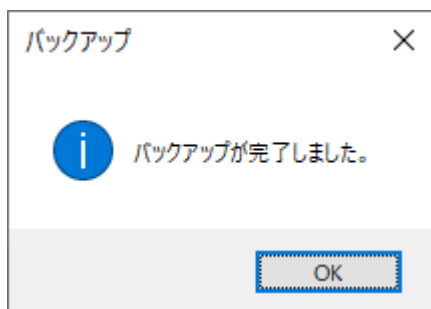


以下が現れますので、メモリスティック等の保存場所を選択し、ファイル名の欄に保存するファイル名を入力して、右下の「保存(S)」のボタンをクリックしてください。

ここでは、ファイル名を「ボード・カードバックアップ」として保存することにします。



バックアップが完了すると、以下のメッセージが現れます。



5-2. バックアップしたファイルの復元

パソコンを買い替えた等で、作成したファイルを別のパソコンに移す場合には、バックアップしたファイルの復元を行います。

(なお、移す先のパソコンには、本ソフトをセットアップしてください。)

通常の使用では、バックアップしたファイルの復元を行う必要はありません。

また、既にボードやカードを作成しているパソコンに復元を行いますと、作成したものが消えてしまい、復元の内容のファイルに置き換わってしまいますのでご注意ください。

オープニングメニューの「バックアップの復元」ボタンをクリックします。



以下が現れますので、バックアップファイルを保存した場所の中にあるバックアップファイル名を選択し、右下の「開く (O)」のボタンをクリックしてください。



バックアップの復元が完了すると、以下のメッセージが現れます。

